

第2回 特別職報酬等審議会会議録（要旨）

[日 時] 令和4年10月25日（火）午後6時00分～午後7時20分

[場 所] 府中市役所 北庁舎 第1・2会議室

[出席者] 委 員（五十音順・敬称略）

板橋 時子、井上 郁子、金森 泰、櫻井 誠、志水 清隆、

高野 みつ枝、高野 佳子、田中 忍、濱中 重美、

事務局等

志摩人事・法制担当参事、二村職員課主幹、菅職員課長補佐、

長嶋人事係長、谷川事務職員

矢ヶ崎教育部次長、坪井監査事務局長、

遠藤議会事務局庶務課長、関田議事課長

[欠席者] 委 員（敬称略）

長崎 益治

[会議経過]

1 開 会 会長の司会により開会。

2 議 題

(1) 追加資料説明

(2) 審議・質疑

（質 疑） 別紙参照

(3) 今後の会議日程

(4) そ の 他 事務局（人事係長）より、前回の会議録について修正事項の有無の確認及び公開の手続きについて説明があった。

質疑・意見等（要旨）

進行順

(1) 追加資料

- （会 長） 事務局から追加資料の説明をお願いします。
（事務局） （追加資料について説明）

(2) 審議・質疑

- （会 長） 事務局からこれまでの審議会における論点が示されました。これらを参考としながら審議に入りたいと思います。ご質問・ご意見をお願いします。
- （委 員） 令和2年度の審議では、「据置き」としていましたが、今回、「引き上げる」か「引き下げる」かを一概に決めるのは難しいと考えています。物価が3パーセント以上も上昇している中で、民間企業の給料は上がっているのかなど、会長から中小企業の状態をお話いただきたいです。
- （会 長） 極度の円安で、観光客は増えているものの、仕入れ価格が上がるなど、中小企業は非常に厳しい状態です。また、長引いた新型コロナウイルスの影響は、改善傾向にありますが、コロナ禍前の水準には戻っていない状況です。
- （委 員） この2年間は新型コロナウイルス対応に追われました。府中市は感染者が多かったのですが、感染者が多いということはそれだけしっかり診察しているということだと思います。特別職の報酬等額については、新型コロナウイルス対策をどのように行ったかで判断したいと考えています。
- （委 員） 特別職の報酬等額を考えるに当たり、市政が市民にどのように評価されているのかなどを相対的に考える必要があると思います。そこで、市の事業は計画通りに進んでいるかや、市の歳入・歳出のバランス、人口の分布状況、議会で円滑な議事ができているかについて状況を教えて下さい。
- （事務局） 市政については、新型コロナウイルスの影響で例年実施できていたサービスは予定通り実施できておらず、人が集まるイベントなどは令和3年度から徐々に再開できるようになりました。
- 市の財政状況については、市税収入等の数字には新型コロナウイルスの影響が明確には表れておりませんが、新型コロナウイルスに係る市民への対応や市内経済への対策は大きな課題となっ

ています。

人口については、増加傾向でありましたが、近年は横ばいとなっており、今後は減少していくことが予想されています。

最後に、議会の状況については、コロナ禍において市議会議員から様々な意見はいただいておりますが、適切に議決をいただいておりますので、円滑な議事ができているものと考えます。

(委員) 資料4の府中市財政の推移について質問ですが、自主財源の財産収入・その他及び投資的経費の増加要因を教えてください。新型コロナウイルスの影響はあるのでしょうか。

(事務局) 令和2年度から令和3年度の財産収入・その他の主な増加要因としては、学校施設の老朽化対策の資金として学校施設改築基金を新設し、160億円積み立てたことが、主な増加要因になっています。

投資的経費については、庁舎の建て替えや、学校の改築など施設の改修等を計画的に実施しており、新型コロナウイルスの影響とは関係なく、改修や修繕計画に基づいて増加しているものです。

(委員) 資料から26市は、多くの市が「据置き」、23区は多くの区が令和2年の1月に「引下げ」をしていることが読み取れますが、各区が「引下げ」をしている理由が分かれば教えてください。

(事務局) 23区が「引下げ」で足並みがそろっている理由としては、特別区人事委員会を有していることが要因として考えられます。

(委員) 世界情勢が非常に厳しい状況であり、日本も新型コロナウイルスの影響で約3年間閉塞してしまっています。さらに、燃料費の高騰など商店街の小売業としては非常に厳しい状況です。

そこで、財政的に許されるのであれば、日本を活気づけるためにも特別職の給料はアップしていただきたいです。

(委員) 自分の仕事は、様々なものが仕入れの際に値上がりしていますが、売る際に値上げをすると消費者は離れていってしまいます。生産者としては値上げをしたいが、消費者としては値上げをしてほしくない。このバランスが非常に難しいと考えています。

(会長) 原材料が値上がりしている一方で、売価に転嫁するのが非常に難しく自分達の生活を支えていくのだけで精一杯という状況です。そこで、地域を活性化していかないとこうした状況は解決しないのではないのでしょうか。このような状況下で、市政の舵取りをされている特別職の報酬等額をどうするべきかを考えていく必要があると思います。

(委員) 新型コロナウイルスに関する制限が緩和している中でインフルエンザとともに、また感染が大流行するのではないかとされており、まだ安心できない状況ではありますが、世の中が動き出さなければいけない状況なので、そのような状況も加味しながら特別職の報酬等額については考えていきたいと思います。また、自分の所属している団体では会合をリモートで実施できるようになりました。そこで、議員のリモートによる活動の詳細とコロナ前後での活動方法の変化を教えてください。また、府中市としては、財政状況にあまり大きな影響を受けていないことが分かりましたが、市民としては光熱費をはじめ、様々なものの値上げが進んでおり、生活が厳しくなっています。市民が安心して暮らすことができる状況まで経済状況が改善した上で、特別職の報酬等額の改定を検討したいと考えています。

(事務局) 新型コロナウイルス前後における議会の運営方法ですが、現在オンラインで運営しているものはございません。感染防止対策としてディスタンスをとるために、委員会室で開催していた委員会等を議場で行うなどの工夫をして運営しております。

(委員) 円安による影響についてですが、円安がこのまま継続していくようであれば府中市の財政への影響はどうなりますか。

(事務局) 財政状況への影響については、9月末時点のものとなりますが令和5年度予算編成に当たっては、経済状況の厳しさが増しており予断を許せない状況となっています。さらに、歳入については、地方譲与税や地方消費税交付金をはじめとする各種交付金の増要因は見られず、一般財源の大幅な税収を見込むことは難しいことから、依然として厳しい状況が続く見込みです。

一方、歳出については、社会保障関係経費、長期化する新型コロナウイルスの対応、物価高騰による市民生活・地域経済活動を支える取組のほか、公共施設の老朽化対策、さらに燃料費や光熱費の高騰などの経常経費が増大することにより、歳出に対して歳入が不足していくということが見込まれています。

(委員) 経済が停滞した状態だからこそ、特別職の報酬等額を「引き上げて」まちを活気づけていくという考えもあるとは思いますが、経済が停滞している中でどのように特別職が市の未来のビジョンを具体的に示しているか、その発信力を評価し、報酬等額を決めていきたいと思います。

(委員) 新庁舎の建替工事などについては工期が延びたことに併せて、

材料費の高騰により当初の契約金額よりも上がっていると思います。財政への影響は出ていますか。

(事務局) 各種の工事費について、委員のご指摘のとおり、影響が出はじめております。なお、府中市の投資的経費に対する財源の考え方については、こういった状況に対応できるように従来から公共施設の整備基金を積み立てるなどして対応しているため、材料費の高騰がただちに財政に大きな影響を与えているわけではないと考えます。

(委員) 審議会資料から府中市の財政は他市に比べて安定しているということは分かりました。また、今年の給与勧告について、一般職の職員は「引上げ」となり、民間企業の給料も令和3年は増加傾向であったため、世間的には給料は上昇傾向だと思います。しかし、特別職は、一般の方とは違う立場にあると思うので、世間的に給料が上がっているから一律に特別職の報酬等額も上げることは、特段の理由がないとできないのではないかと考えます。そこで、先ほど他の委員さんからも発言がありましたが、どのように府中市の未来のビジョンを具体的に示してくれているのかといった発信力などを含めて報酬等額について評価していきたいと思います。また、議員の活動内容があまり分からないという意見が前回の審議会からあると思います。審議会資料の中にも議員に関する資料がありますが、もう少し活動内容が分かる資料があれば評価の仕方が変わってくると思います。

平成28年度以降ずっと「据置き」のため、「引上げ」をしたい気持ちはありますが、26市と報酬等額を比較すると府中市の報酬等額は既に上位にあり、八王子市の報酬等額を超えてしまっているのかという疑問もあります。

(事務局) (参考として議員の活動に係る資料を配布)

各議員の活動は、各会派での活動のほかに、議員個人の活動もあることから全てを把握することは難しいと考えています。なお、コロナ禍における議員の活動としては、会合等は縮小する傾向となり、市民と直接会う機会は減りましたが、各会派での広報活動を充実させたほか、リモートで市民や各団体からの意見を聞き取るなどにより、一般質問や委員会での質問に活かしているものと捉えております。また、令和2年度には全会派一致して市長に要望書を提出するという動きもありました。

(会長) 議員の活動状況について、活動の全てを把握するのは難しいで

すが、先ほど配布された追加資料でおおよその把握できるかと思
います。

ほかに何か質問等がありますか。

(意見無し)

(会 長) 本日は委員の皆様より、様々な質問・意見を賜りました。報酬
等額の「据置き」、「引上げ」又は「引下げ」の結論まで達するこ
とができればと予定しておりましたが、本日の議論ではそこまで
達していないようです。

次回は、本日欠席されている委員の意見も交えて審議を進め結
論に結び付けていきたいと思えます。

長時間ありがとうございました。

(3) 今後の会議日程

(会 長) 前回決定しましたとおり、11月7日の午後6時00分から向
かいの第5・6会議室で開催しますので、よろしく申し上げます。